



和歌山県白浜町

～和歌山の新たな名産品を創り世界に広げたい～
地域の農村を守り食料を守るために！

かぶしがいしゃ み まい

株式会社三舞ファーム

参入法人の概要

法人形態：リース法人

代表者名：代表取締役会長 鎌倉 正明

代表取締役 鴻谷 浩言

所在地：和歌山県西牟婁郡白浜町安居中村前 661

設立年次：令和4年6月

資本金：300万円

親会社：(株)紀州鶯屋

営農形態：露地栽培

主要作物：サツマイモ、ムクナ豆

経営面積：2.4ha（うち、借入2.4ha）

主な販売先：親会社、産直小売業者、町内小売店

売上額：250万円（農業売上額）

常時雇用：2名

●農業に参入した目的を教えてください

親会社の(株)紀州鶯屋は梅酒の製造販売や東京で外食店舗を展開する(株)酒のかまぐらのグループ会社です。(株)紀州鶯屋は栽培面積が年々減少し、若者需要が減っている和歌山特産の梅・みかんに次ぐ特産品としての農作物を考えていたところ、当社の所在地近隣に栽培条件の良い遊休農地があることがわかりました。

(株)紀州鶯屋ではこの農地で栽培した農作物を使った新商品を開発することとし、初めて農業に参入する者でも栽培が容易で、女性に人気のあるサツマイモを使った菓子製品を製造することとし、原料となるサツマイモを生産する(株)三舞ファームを令和4年6月に設立しました。

これにより、地域に新たな雇用を創出するとともに、地域の農家がサツマイモ栽培を始めれば、当社が原料として購入することにより、農家所得の向上にも資することになると考えています。



左から、鎌倉会長、鴻谷社長、川脇専務

●当該土地を選んだ理由を教えてください

親会社が所在する近隣地域に、土壌の窒素成分が少なく、農業機械もある程度入り易いなど、サツマイモにとって栽培条件の良い遊休農地があったので、この地域が蘇ればとの想いも相まって、当該土地を選びました。

●当該作物を選んだ理由を教えてください

初めて農業に参入する者でも栽培が容易で、女性に人気のあるサツマイモを選びました。また、サツマイモは海外でも大変人気があり、栄養的にも優れているのも理由です。

●参入にあたっての栽培技術や販路の確保で課題はありましたか

サツマイモの栽培は基本的に容易であり、それほど困難な技術的課題はありませんが、土づくりの基本的なことは地元農家に指導してもらい、サツマイモ栽培の全般的な知識については、鹿児島や茨城の有名産地に出向いて見学しました。

販路については親会社が大半の取引先となりますが、親会社の取引先（町内の小売店）からの要望があれば販売しており、また、産直にも挑戦しようと考えています。

また、親会社の(株)紀州鶯屋で製造されているサツマイモの菓子製品については、当社および親会社が属する(株)酒のかまぐらグループのネットワークを使って開拓した、白浜町のホテルでの販

売が好評であり、そのことで問屋からの引き合いも増えており、今後はフーデックスへの出展を通じて海外への販売拡大も視野に入れています。

●地域との関係などで気を付けていることがあれば教えてください

近隣の農家は1軒しかなく、特に気を付けなければならないような状況はありませんが、昨今、鳥獣被害が増えてきていることから、今年から地区の防獣柵のメンテナンスへ参加しようと考えています。

●今後の経営方針について教えてください

今後、青年等就農資金計画での目標となっている利益（320万円/人）を達成するため、サツマイモの栽培面積を6haまで拡大し、黒字化すれば常勤の従業員を1名増員したいです。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

丹精込めて育てた作物を収穫したときは感慨深いものがあります。

また、バイヤー様や購入者の方から、親会社で製造販売したサツマイモ菓子を「美味しい」と言ってもらえるのが何よりの喜びでもあります。

新規事業への参入時期が丁度ウクライナ戦争の影響を受ける時期と重なり、見積もり時と実際に栽培を開始したときでは、資材、肥料、燃料費等ほぼすべてのものが値上がりしておりました。

今後も物価の高騰が見込まれておりますので、計画段階での予算は少し余裕を持って立てられた方が良くかと存じます。

耕作地を決定するにあたり、弊社では予め地域の方にお集まりいただき説明会を実施いたしました。地権者の方から畑を借りる（または、購入する）のは当然の事ですが、その前に周辺地域の方にも予め説明し納得していただいたうえで、栽培地を決定したことで、後々のトラブルを避けられるだけでなく、アドバイスやお手伝いをいただく事ができました。

まだ事業を開始して2年弱（初めての収穫が終わったところ）ですが、地域の方々とのコミュニケーションは楽しく、その土地ならではの大切なことを知る良い機会ですので、ぜひ積極的に地域に溶け込んでみて下さい。



サツマイモ収穫の様子



親会社のサツマイモ菓子
製品加工場



三種類のサツマイモ菓子製品を製造